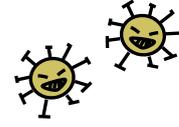
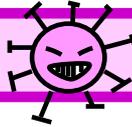


感染症に気をつけよう!

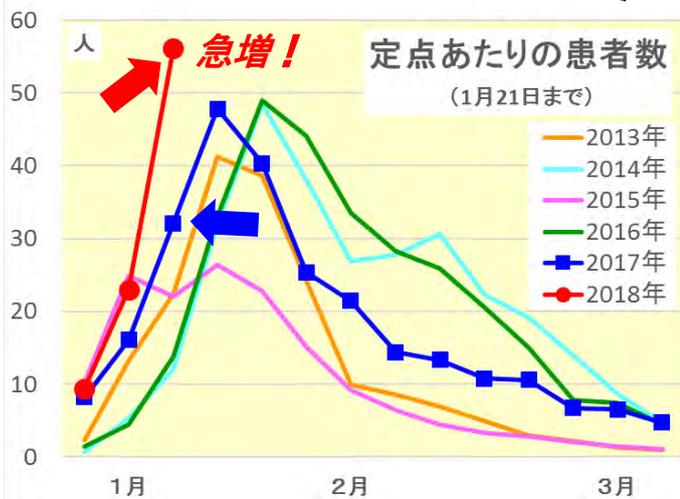
2018年【2月号】

横浜市内の感染症 流行状況



感染症	流行状況		説明 <small>【解説付き既刊号】</small> ← クリック
インフルエンザ	警報	増加	1月下旬に定点あたりの患者数が警報レベル30人を超え、 流行警報 が出されました。【'18.1号】
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	やや流行	増加	11月上旬頃から、増えています。過去6年間で、この時期としては最も多いです。【'15.3号】

今、気をつけたい感染症 インフルエンザ



警報発令中!

- 昨年もこの時期に警報が発令されましたが、患者報告数は今年の方が、かなり上回っています。
- 小学校を中心に学級閉鎖が急激に増加し、高齢者施設や保育園での集団発生も続いています。

予防の基本!

- 正しい手洗いが大切です。
- かかったかな!と思ったら、咳エチケットを守り早めに受診してください。

しっかり休養!

- 発症後3~7日間は、鼻やのどからウイルスを排出すると言われています。
- 学校等については、【症状が出てから5日間が過ぎ、かつ、熱が下がった後2日間(幼児は3日間)は休むこと】とされています。かかりつけ医に相談しましょう。

